

上天草市  
KAMI AMAKUSA

人と海のふれあうまち

# 上天草市姫戸統括支所建設基本構想



平成26年3月

## 目次

---

1	姫戸統括支所建設の背景 .....	1
	(1) 姫戸統括支所建設に関するこれまでの経緯 .....	1
	(2) 現姫戸支所における問題点について.....	2
	(3) 上天草市姫戸統括支所建設基本方針策定までの経緯.....	3
2	新姫戸支所の目指すべき姿（基本理念） .....	5
	(1) 安全・安心で利用しやすい防災拠点となる支所 .....	5
	(2) 誰もが安心して利用できる支所 .....	5
	(3) 合理的な行政運営ができる支所 .....	5
	(4) 住民が交流・参加ができる多目的集会施設等を併設した複合型支所.....	5
	(5) 環境に配慮した効率的・経済的な支所.....	6
	(6) 周辺の景観と調和がとれ、住民に親しまれる支所 .....	6
3	新姫戸支所に導入する機能.....	7
	(1) 窓口機能（窓口、相談室など） .....	7
	(2) 事務機能（執務空間、会議室、書庫など） .....	7
	(3) 防災機能（災害復興活動拠点施設など、災害時の対応が可能な空間） ...	7
	(4) 公民館活動機能（多目的集会施設、調理場、図書館など） .....	8
	(5) 駐車場等 .....	8
4	新姫戸支所建設計画の概要.....	9
	(1) 建設時期について .....	9
	(2) 建設規模について .....	9
5	建設位置について .....	12
	(1) 建設位置について .....	12
	(2) 候補地の検証 .....	14
	(3) 新姫戸支所建設地の比較検討結果 .....	18
6	今後の取組みについて .....	20
	(1) 地区住民との合意形成.....	20
	(2) 新姫戸支所移転時の業務・サービス提供について .....	20

# 1 姫戸統括支所建設の背景

## (1) 姫戸統括支所建設に関するこれまでの経緯

現姫戸統括支所（以下「現姫戸支所」という。）は旧姫戸町役場として昭和37年に建設された木造2階建ての施設であり、施設の老朽化に伴い、設備等の劣化が進み、住民に対する行政サービスの提供や職員の業務執行に支障を来している状況です。

また、旧姫戸町では、平成4年に新しい姫戸町役場建設に必要な資金確保のため、姫戸町役場建設基金条例を策定し、この基金を積立てつつ建設に向けた検討を行っていました。このような中、旧姫戸町議会においては、庁舎建設検討特別委員会を設置し、同委員会が建設位置について公有地など数箇所の候補地を挙げ審議した結果、平成16年姫戸町議会3月定例会において、同委員会から「建設位置は姫浦成川内周辺の埋立地とすべき」との報告がありました。

また、平成16年3月31日合併時、「新市の事務組織・機構の整備に係る取扱い方針」において、大矢野町役場、松島町役場を本庁舎として、また姫戸町役場及び龍ヶ岳町役場は支所として位置付けられたこともあり、改めて上天草市においても新姫戸統括支所（以下「新姫戸支所」という。）の建設について上天草市松島庁舎等建設検討委員会により現姫戸支所の現状や建設候補地の視察を実施・検討した結果、平成16年12月3日に建設位置について同委員会から以下の答申がなされました。

### 【答申内容】

**姫戸統括支所の建設位置については、姫戸町姫浦成川内地区から永目地区までの区間の公有水面埋立地とする。**

このことから、平成18年7月7日に上記区間の公有水面埋立の許可を受け、姫戸庁舎建設基金（以下「建設基金」という。）195,364千円及び姫戸地区土地造成基金（以下「土地造成基金」という。）69,476千円（いずれも平成24年度決算）のうち、土地造成基金を財源とし、国道266号道路改良工事と関連して平成20年度から造成工事を行い、平成25年5月に埋立に係る竣功認可を受けました。

## &lt;参考&gt; 各基金の状況

(単位:千円)

区分	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末
建設基金	194,350	194,933	195,187	195,364
土地造成基金	99,343	96,792	87,037	69,476

※ 千円未満については四捨五入

## (2) 現姫戸支所における問題点について

現姫戸支所は、昭和37年に旧姫戸町役場として姫戸町姫浦2502番地3に建設された木造2階建ての施設であり、平成25年4月現在、18名（委託契約社員を含む。）の職員が勤務しています。

現姫戸支所は、築50年以上が経過しており、施設の老朽化に伴い設備等の劣化が進み、また障がい者や高齢者に対するバリアフリーの未整備等に加え、大雨時には冠水するなど防災拠点としての機能を十分備えておらず、住民に対する行政サービスの提供や職員の業務執行に支障を来している状況です。

具体的には、以下のような問題点があります。

## 【現姫戸支所における問題点】

## ①老朽化による問題点

- イ 雨漏りによる漏電被害
- ロ 2階大会議室のシロ蟻被害
- ハ 建築部材のゆがみ等から建物内部の取り合い部等に隙間が生じ、空調の効率性の低下

## ②住民に対する行政サービスにおける問題点

- イ 障がい者及び高齢者に対するバリアフリー非対応による不便性
- ロ 障がい者及び高齢者対応トイレの未設置による転倒事故のおそれ
- ハ 相談室の未整備による来庁者のプライバシー保護の困難
- ニ 大雨時、塩屋川の溢水による駐車場の使用不可
- ホ 旧耐震基準で建設されており、新耐震基準に対し耐震性が不十分



現姫戸統括支所（昭和37年建設）



バリアフリー非対応

## ＜参考＞ 支所の概要

(単位：m<sup>2</sup>)

項目	施設規模		建築 年度	改築 年度	延床面積	敷地面積
	構造	階層				
姫戸支所	木造	2階	S 3 7	H 7	1,434.34	1,703.76
龍ヶ岳支所	R C 一部S C	地上3階 地下1階	S 3 9	H 7	3,637.77	5,581.84

## (3) 上天草市姫戸統括支所建設基本方針策定までの経緯

上天草市姫戸統括支所建設基本方針（以下「基本方針」という。）は、平成24年1月に庁内で姫戸統括支所建設検討庁内プロジェクトチーム（以下「庁内P T」という。）を編成し、新姫戸支所の建設に関する旧姫戸町議会における議論及び平成16年度の上天草市松島庁舎等建設検討委員会の答申を十分に尊重しつつ、合併後の社会経済情勢の変化、市の財政状況などを踏まえ、新姫戸支所の目指すべき姿や、新姫戸支所に関する建設の基本となる考え方について議論・検討を行い、その結果について住民アンケート調査を実施することにより住民の意見を反映した基本方針を策定しました。

なお、庁内P Tの検討状況は、以下のとおりです。

## 【検討状況】

- ◆庁内P Tにおける目的と検討体制について確認。
- ◆新姫戸支所建設の必要性について協議。
  - 新姫戸支所建設に関するこれまでの経緯について
  - 現姫戸支所における問題点について
  - 新姫戸支所建設の必要性について
  - 前提条件の整理（建設費用の財源）
- ◆新姫戸支所の規模及び機能等について協議。
  - 合併以前からの新姫戸支所建設の取扱い
  - 新姫戸支所の規模に関する基本的な考え方について
  - 新姫戸支所の規模について
  - 導入する機能について
  - 建設規模、費用の概算について
  - 建設工法及び建設費用について

- ◆新姫戸支所の建設位置について協議。
  - ・ 建設位置について
  - ・ 候補地の検証
  - ・ 新姫戸支所建設地の比較検討結果
- ◆建設に関する住民アンケート調査の内容等について協議。
  - ・ 住民アンケート調査の目的・必要性について
  - ・ 住民アンケート調査結果の取扱いについて

〔基本方針〕

- 1 新姫戸統括支所は、現姫戸統括支所の老朽化と、旧姫戸町から庁舎建設について検討されてきた経緯に鑑み、災害対策や住民の安全・安心の確保と、住民に対する行政サービスの向上を図るために早期の建設が望ましく、新姫戸統括支所の建設位置における道路等の整備（開発行為）をはじめとする新姫戸統括支所建設工事に平成26年度を目途に着手する。
- 2 新姫戸統括支所の建設費用には、原則として姫戸庁舎建設基金を充当する。
- 3 新姫戸統括支所に導入する機能は、住民に対し行政サービスの提供に資する支所機能の他、多目的集会施設、調理場及び図書館の公民館活動機能を有するものとする。
- 4 新姫戸統括支所の規模は、支所機能と公民館活動機能が発揮できるよう考慮する。
- 5 新姫戸統括支所の建設工法は、構造性能やコスト面に配慮し、鉄骨工法を基本とする。
- 6 新姫戸統括支所の建設位置は、敷地条件面、交通アクセス面、防災面及び建設コスト面を総合的に鑑み、「姫浦成川内地区から永目地区までの区間の公有水面埋立地」とする。

市では、この基本方針を基に、新姫戸支所建設に関する基本的な指標（基本理念、導入する機能、規模、建設計画、建設位置）等を取りまとめ、今後実施する設計業務において、具体的な検討を行う際の基本的な考え方を示す「上天草市姫戸統括支所建設基本構想」を策定しました。



## 2 新姫戸支所の目指すべき姿（基本理念）

---

平成24年1月からの庁内PTにおける新姫戸支所建設に関する議論や住民アンケート調査により住民の皆さまから頂いた御意見を踏まえ、新姫戸支所の目指すべき姿（基本理念）を以下のとおり示します。

### （1）安全・安心で利用しやすい防災拠点となる支所

---

新姫戸支所は、風水害・火災等の災害時には、住民の安全・安心を守るため、姫戸地区における災害復興活動の指揮・情報伝達システムを担う拠点施設となる支所とします。

### （2）誰もが安心して利用できる支所

---

新姫戸支所は、住民に対し充実した行政サービスを提供するため、誰もが安心して利用でき、住民に親しまれる支所とします。子どもから高齢者、乳幼児を抱えた女性や妊婦、外国人の方など誰もが安心して利用できるようユニバーサルデザインに配慮します。

### （3）合理的な行政運営ができる支所

---

新姫戸支所は、明るく快適に働ける執務・会議・収納等の各スペースを十分に確保するとともに、打合せコーナーや相談室を設置し、効率的な業務執行ができる支所とします。

### （4）住民が交流・参加ができる多目的集会施設等を併設した複合型支所

---

新姫戸支所は、住民に対し行政サービスを提供するだけでなく、行政への住民参加及び住民と行政の協働によるまちづくりを推進するうえで、多目的集会施設等でのイベントや展示を通じ、双方が情報を共有し、協力・連携を図ることができる支所とします。

### （5）環境に配慮した効率的・経済的な支所

---

新姫戸支所は、自然光、自然通気など自然エネルギーの有効利用のみならず、太陽光発電等の省エネルギー、省資源化に特化した設備や、BEMS（Building Energy Management System）（※）を積極的に導入することにより省エネルギーと快適性を実現しつつ、効率性及び経済性にも優れ、かつ住民への省エネルギー等の環境対策の推進を図るための先駆的施設となる支所とします。

※BEMS（Building Energy Management System）とは、配電設備・空調設備・換気設備・OA機器等の電力使用量の制御を自動化・一元化するシステムです。これにより建物内のエネルギー使用状況や設備機器の運転状況を一元的に把握し、電力使用量の可視化（見える化）、その時々々の需要予測に基づいた最適な運転をすばやく実行でき、きめ細やかな監視制御によって、人手をかけることなく、建物全体のエネルギー消費を最小化できます。

### （6）周辺の景観と調和がとれ、住民に親しまれる支所

---

新姫戸支所は、八代海が一望できる海に面した土地に建設することから、「人と海のふれあうまち」をキャッチフレーズとする上天草市をイメージさせる環境にあります。そのため、このすばらしい景観に調和しながら、機能美に溢れたシンプルなデザインであるとともに、建設コスト及び維持管理コストの負担を軽減しながらも、住民に長く愛され、親しまれる支所とします。



### 3 新姫戸支所に導入する機能

---

新姫戸支所の機能について、旧姫戸町から新姫戸支所建設に関し議論されてきた経緯に鑑み、「窓口機能」、「事務機能」、「防災機能」、「駐車場機能」等の『支所機能』の他、多目的集会施設、調理場及び図書館の『公民館活動機能』を導入します。

なお、これらの機能については同一の建物内に導入することとし、建物自体を一体的に整備します。

#### (1) 窓口機能（窓口、相談室など）

---

- イ 行政サービスにおける利便性向上の観点から、住民が関連する複数の手続きを同一窓口で集中して行うことができるよう配慮し、利用者にとって分かりやすく、使いやすい空間とします。
- ロ 相談内容や手続きに応じて、プライバシーの保護に配慮し、相談室を設置します。

#### (2) 事務機能（執務空間、会議室、書庫など）

---

- イ 業務への意欲と集中力が高められ、かつ快適で働きやすい執務空間とします。
- ロ 書庫及び倉庫など、資料や器材を保管できる十分な収納スペースを配置します。
- ハ 会議室は、用途に合わせて大・小会議室となるように、限られたスペースを最大限活用します。

#### (3) 防災機能（災害復興活動拠点施設など、災害時の対応が可能な空間）

---

- イ 災害時において、姫戸地区における災害復興活動の指揮・情報伝達システムを担う拠点施設として必要な設備を設置します。
- ロ 災害時にも支所機能を維持するために、建物自体の安全性を向上させる対策を施すことに加え、自家発電設備の設置など、バックアップ機能を強化します。
- ハ 災害用の資機材や備蓄食料等を保管できるスペースを確保します。
- ニ 建物を一部2階建てとし、当該2階部分に災害時に必要な上記の設備等を集約します。

#### (4) 公民館活動機能（多目的集会施設、調理場、図書館など）

---

- イ 多目的集会施設は、住民が気軽に訪れ利用でき、人と人との新たな交流が生まれるような明るく快適な空間とします。また、多目的集会施設は姫戸地区における文化ホールとなるよう、住民の幅広い活動を想定し、将来的に活用の幅を広げておくことが重要であるため、多目的利用が可能な形態、機能・性能を持つ空間とします。
- ロ 調理場は、利用者が分かりやすく使いやすい、また「食の学び」や「食の楽しさ」が体験できる空間とします。
- ハ 図書館は、子どもからお年寄りまで、また外国の方や障がい者のみなさまが生き生きと自分の居場所として集い、憩い、学ぶことのできる空間とします。

#### (5) 駐車場等

---

- イ 駐車場については、周辺交通への影響に配慮した出入りしやすい駐車場とします。
- ロ 自転車やバイク等を利用し来庁される方々に配慮し、適当なスペースの駐輪場を設置します。

## 4 新姫戸支所建設計画の概要

### (1) 建設時期について

現姫戸支所は、防災拠点施設としての機能を十分備えていないことと、設備等の劣化により住民に対する行政サービスの提供や職員の業務執行に支障を来していることから、住民の安全・安心な暮らしの確保と住民に対する快適な行政サービスの提供を図るため、新姫戸支所の早期の建設が望ましく、新姫戸支所の建設位置における道路等の整備（開発行為）をはじめとする新姫戸支所建設工事に平成26年度中を目途に着手を目指します。

なお、現時点における概ねのスケジュールは、以下を想定しています。

#### 【年次計画の取組み】

項目／年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
<b>1 設計・調査</b>	4 6 9 12 3	4 6 9 12 3	4 6 9 12 3
①基本設計		←→	
②実施設計			←→
③地質調査		↔	
④開発行為申請	←→		
⑤工事監理			←→
<b>2 工事</b>			
①支所本体建築工事			←→
②外構工事			↔
③開発工事		←→	

### (2) 建設規模について

#### 【職員数について】

新姫戸支所の規模を検討するに当たり、その基礎となる判断指標は、将来の職員数及び組織配置であり、職員配置数に関して、平成26年4月1日に配置予定の職員数を活用します。

新姫戸支所に配置予定の職員数（委託契約社員を含む。）	6人
----------------------------	----

## 【組織配置について】

新姫戸支所の組織配置については、住民に対し行政サービスの提供に必要な窓口等の行政機能を有する組織とします。

## 【併設する施設】

旧姫戸町において、ひめど保育園（現ひかり保育園）の建設に当たり、多目的集会施設、調理場及び図書室が整備されていた姫戸町多目的集会所を解体し整備されました。このことから、旧姫戸町では新姫戸支所に取り壊された施設を併設し整備することとしている経緯があり、このことに鑑み、新姫戸支所には住民がふれあい交流できる場として旧姫戸町多目的集会所に配置されていた次の3つの諸室を併設します。

・ 多目的集会施設 ・ 調理場 ・ 図書室

なお、規模については、総務省の地方債同意等基準に基づく庁舎の標準面積等（※）と、旧姫戸町多目的集会所内の各諸室の面積及び現姫戸図書館の面積を参考に算出しています。

※地方債同意等基準に基づく庁舎の標準面積については、平成23年1月25日付け総務省自治財政局地方債課事務連絡をもって廃止されていますが、新姫戸支所に最低限必要と思われる面積を算出するための指標として用いています。

## 【支所及び併設する施設計画】

区 分	面積 (㎡)	備 考
支所		
ア 事務室	40.95	職員配置予定数6人
イ 倉庫	5.32	事務室面積×13%
ウ 会議室 その他諸室	160.00	本庁と位置づけられる庁舎に必要な会議室等の最低面積350㎡の50%程度
エ 玄関・廊下等	82.50	(ア+イ+ウ)×40%
<b>小 計</b>	<b>288.77</b>	
併設する施設		
多目的集会施設	207.00	旧姫戸町多目的集会所と同規模
調理場	48.16	旧姫戸町多目的集会所と同規模
図書館	184.00	現姫戸図書館230㎡の80%程度
<b>小 計</b>	<b>439.16</b>	
<b>合 計</b>	<b>727.93</b>	<b>支所+併設する施設</b>

## 【敷地利用計画】

区 分	平屋建ての場合	2階建ての場合	備 考
	面積 (㎡)	面積 (㎡)	
支所及び併設する施設	727.93	363.96	
駐車場	1,200.00	1,200.00	イ+ロ+ハ
イ 来庁者用	1,000.00	1,000.00	40台×25㎡
ロ 公用車用	50.00	50.00	2台×25㎡
ハ 職員用	150.00	150.00	6台×25㎡
その他外構等	481.98	390.99	敷地全体の20%程度
合 計	2,409.91	1,954.95	

## 5 建設位置について

### (1) 建設位置について

新姫戸支所の建設位置については、旧姫戸町議会において庁舎建設検討特別委員会を設置し、同委員会の視察・検討の結果、平成16年3月9日に「建設位置は姫浦成川内周辺の埋立地とすべき」と報告がなされており、また、平成16年12月3日に上天草市松島姫戸統括支所等建設検討委員会から「姫戸統括支所の建設位置については、姫戸町姫浦成川内地区から永目地区までの区間の公有水面埋立地とする。」と答申がなされているところです。

しかしながら、平成23年3月に発生した東日本大震災において、沿岸部にある家屋のほとんどが津波により流出若しくは全損し、また庁舎を含めた行政機能も壊滅的な打撃を受けたことに鑑みると、想定外の災害時においては、公有水面埋立地は住民の安全・安心を確保することが可能であるか懸念されることです。

このことから、旧姫戸町議会における庁舎建設検討特別委員会の報告及び上天草市松島姫戸統括支所等建設検討委員会の答申から、建設位置については公有水面埋立地とするところではありますが、東日本大震災の教訓を踏まえ、再度、建設地について以下に示す選定に係る基本的な考え方にに基づき検証を行いました。

#### 【新姫戸支所の建設位置としての条件】

##### ア 敷地条件面

新姫戸支所本体（併設する施設を含む。）、来庁者及び公用車等の駐車場が確保できる面積（※）を有する場所であること。

##### イ 交通アクセス面

交通の事情に適した場所であること。

##### ウ 防災面

災害時における防災活動拠点に相応しい場所であること。

##### エ 建設コスト面

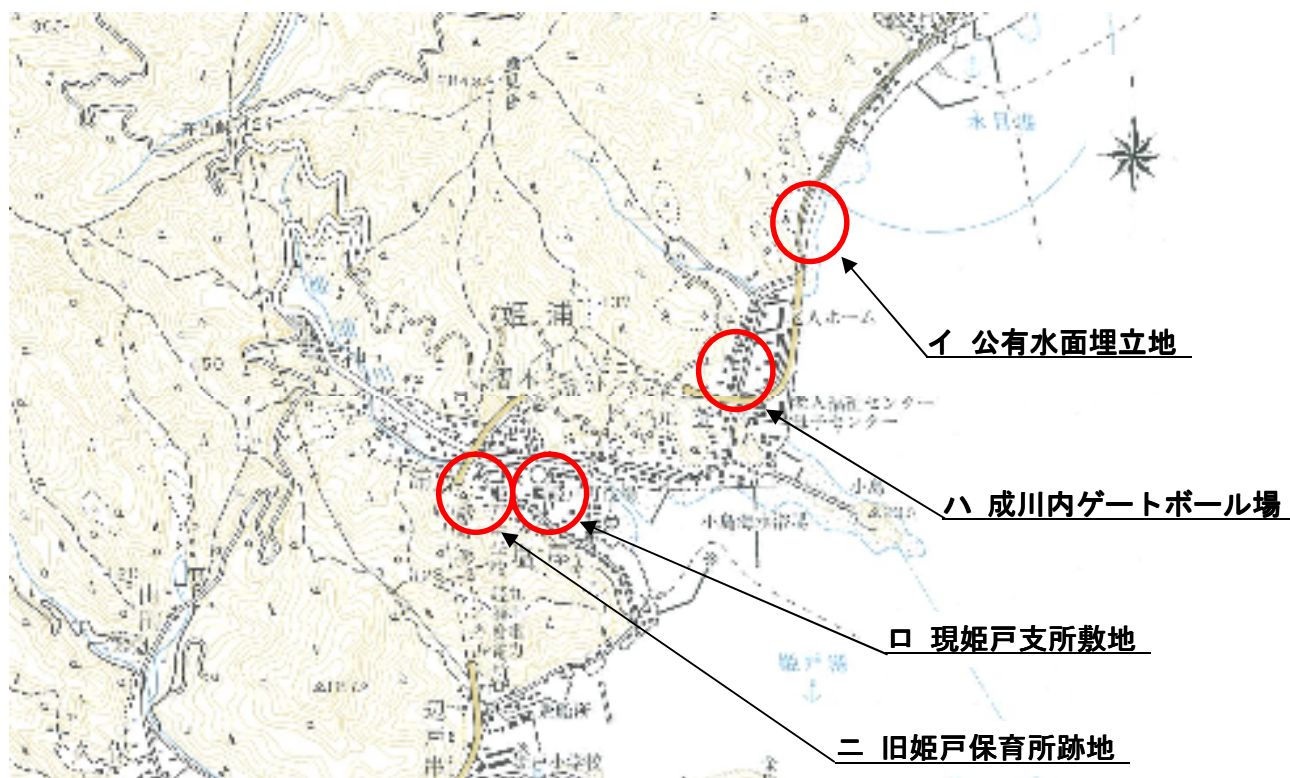
建設地の造成費用が土地造成基金の範囲内で納まることと、新姫戸支所の建設費用が建設基金の範囲内で納まる場所であること。

※敷地面積は、平屋建ての場合は2,409.91㎡を、2階建ての場合は1,954.95㎡を必要とします。

なお、選定に当たっては、姫戸町に存在する市有地の中で上記事項を鑑み、建設位置を以下の4箇所に絞り込み、条件を備えた場所であるか検証を行いました。

- イ 姫浦成川内地区から永目地区までの区間の公有水面埋立地（以下「公有水面埋立地」という。）
- ロ 現姫戸支所敷地
- ハ 成川内ゲートボール場
- ニ 旧姫戸保育所跡地

【4候補地の位置図】





## (2) 候補地の検証

### イ 公有水面埋立地の概況

所在地：姫浦

敷地面積：26,164.08㎡



#### (i) 敷地条件面

新姫戸支所建設に必要な敷地面積を有しています。

#### (ii) 交通アクセス面

姫戸地区の中心地からは外れるものの、国道に隣接しているため、住民にとって分かり易い場所であり、利便性も良い場所です。

#### (iii) 防災面

新姫戸支所の建設予定地部の地盤高については、隣接する国道と同じ程度の高さで造成を行う計画であることに加え、海に面していることから、大雨時においても円滑な雨水処理が可能であるため、冠水するおそれはありません。

#### (iv) 建設コスト面

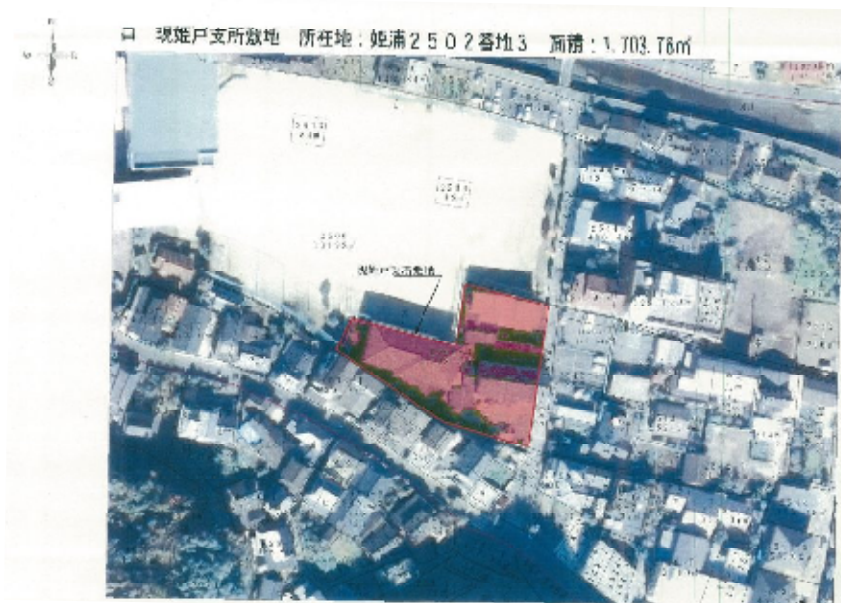
土地造成については、土地造成基金の範囲内で納まります。

建設については、新姫戸支所本体の荷重による沈下防止のため、造成計画高より約10m以深にある支持層までの基礎杭工事が必要となり、これに約30,000千円の費用を要します。

□ 現姫戸支所敷地の概況

所在地：姫浦2502番地3

敷地面積：1,703.76㎡



(i) 敷地条件面

新姫戸支所建設に必要な敷地面積を有していません。

(ii) 交通アクセス面

姫戸地区の中心地に位置し、また現姫戸支所の建設位置であるため、住民にとっては最も分かりやすく、さらに市道に隣接しているため、利便性も良い場所です。

一方で、集落内に位置しているため、観光客等の市外の方にとっては分かりにくく、不便を来しています。

(iii) 防災面

近傍に塩屋川（準用河川）が流れており、この下流には雨水を処理する遊水地があるが、大雨時と満潮時が重なると、川の流れが阻害され、雨水を処理することができず、川が溢水し、冠水します。

現姫戸支所は避難予定所として位置付けられており、新姫戸支所においても避難予定所（予定）としての防災機能を有することが必須であることから、冠水防止のための地盤の嵩上げが必要となります。

**(iv) 建設コスト面**

地盤の嵩上げのための盛土等は、土地造成基金の範囲内で納まります。

建設に際しては、住民に対する行政サービスを継続して提供するため、工事期間中において仮事務所を設置し移転することとなるが、新姫戸支所の完成後においても再度移転することとなり、移転費用が重複することになります。

**ハ 成川内ゲートボール場の概況**

所在地：姫浦3055番地48

敷地面積：2,101.13㎡

**(i) 敷地条件面**

新姫戸支所が2階建てになるものの、新姫戸支所建設に必要な敷地面積を有しています。

**(ii) 交通アクセス面**

姫戸地区の中心地からは外れるものの、国道に隣接しているため、住民にとって分かり易い場所であり、利便性も良い場所です。

一方で、道路との高低差が1mあることから、新姫戸支所への出入りの利便性向上と道路交通上の安全性を図るため、新たにアクセス道路を整備する必要があります。そのため、市道に隣接する市所有の集団移転の際に利用した土地を財産処分し、その後その土地を新姫戸支所へのアクセス道路として整備を行ったうえで、市道に編入する必要があります。

**(iii) 防災面**

地盤高が国道よりも1m低いため、台風時には大雨と越波により冠水した経緯もあることから、防災拠点としての機能が低く、地盤の嵩上げが必要となります。

**(iv) 建設コスト面**

市道に隣接する市所有の集団移転の際に利用した土地を道路として整備するため、アスファルト舗装や排水構造物設置等の整備に約5,000千円、地盤の嵩上げのための盛土等に約10,000千円の費用を要するものの、土地造成基金の範囲内で納まります。

建設に当たっては、新姫戸支所をユニバーサルデザインに配慮した施設とするため、エレベーターの設置が必要となり、約20,000千円の費用を要します。

**二 旧姫戸保育所跡地の概況**

所在地：姫浦2494番地2

敷地面積：809.23㎡

**(i) 敷地条件面**

新姫戸支所建設に必要な敷地面積を有していません。



**(ii) 交通アクセス面**

姫戸地区の中心地に位置しているため、住民にとっては分かりやすい場所であり、また県道に隣接していることから、利便性も良い場所です。

**(iii) 防災面**

地盤高が県道より低く、大雨時において路面水が敷地に入ってくるものの、敷地の周りには排水構造物が設置されており、円滑な雨水処理ができているため、冠水のおそれはありません。

一方で、背後地が丘陵な山林であり、大雨時においては土砂災害のおそれがあるため、この災害に備えた山止工事が必要となります。

**(iv) 建設コスト面**

土砂災害に備えた山止工事に約20,000千円の費用を要するものの、土地造成基金の範囲内で納まります。

建設に当たって、建設に必要な敷地面積の確保のため、用地取得が必要となるが、この用地取得に伴い建設基金が縮小することで、新姫戸支所の建設規模が縮小されることとなり、計画している規模の建設は不可能となります。

**(3) 新姫戸支所建設位置の比較検討結果**

4候補地を検証・比較した結果、公有水面埋立地においては、建設に必要な敷地面積を有し、国道沿線でもあることから住民にとって分かり易く、交通アクセス面の利便性の観点からも建設位置として相応しい場所です。建設に当たっては、新姫戸支所本体の荷重による沈下防止のための基礎杭工事に約30,000千円の費用を要するものの、国道と同じ程度の高さで造成を行う計画であることに加え、海に面していることから、大雨時においても円滑な雨水処理が可能であり、冠水するおそれはありません。そのため、当該土地においては、防災面の観点からも建設位置として適します。

成川内ゲートボール場においては、建物が2階建てになるものの、建設に必要な敷地面積を有しており、また、国道沿線でもあることから住民にとって分かり易く、敷地条件面及び交通アクセス面の観点からすると建設位置として相応しい場所ですが、当該土地は地盤高が国道より1m低いため、大雨時において冠水した経緯があることや、建設に当たり、新たなアクセス道路の整備に約5,000千円、地盤の嵩上げのための盛土等に約10,000千円、さらにユニバーサルデザインのためのエレベーターの設置に約20,000千円の費用

を要することから、防災面及び建設コスト面の観点から公有水面埋立地と比較すると、建設位置として適しません。

その他、現姫戸支所敷地、旧姫戸保育所跡地においては、いずれも新姫戸支所建設に必要な敷地面積を有していません。また、現姫戸支所敷地においては、豪雨時には冠水することから、防災面の観点からも建設位置としては適していません。旧姫戸保育所跡地においては、建設に必要な面積を確保するための用地購入に約30,000千円の費用を要することとなり、新姫戸支所は原則として建設基金を充当し建設することから、多目的集会施設、調理場及び図書館を併設した新姫戸支所の建設規模を縮小せざる得なくなり、この規模縮小に伴い、併設する施設の公民館活動機能が低下することで住民の意向を反映した新姫戸支所を建設することができなくなるため、建設位置として適しません。

よって、総合的な見地から判断し、公有水面埋立地を建設位置としたところです。

## 6 今後の取組みについて

---

新姫戸支所建設の具現化に当たり、さらに必要となる以下の事項について引き続き取り組む必要があります。

### (1) 地区住民との合意形成

---

新姫戸支所建設は、住民にとって重要な事業であり、今後の設計・調査、工事過程においても住民の理解を深め合意形成を図ることが重要であるため、市広報紙等で新姫戸支所建設に関する情報を積極的に公表しながら、建設を進めていきます。

### (2) 新姫戸支所移転時の業務・行政サービスの提供について

---

新姫戸支所完成後、現姫戸支所から新姫戸支所への移転に当たっては、事前に移転計画作成等の準備が必要となるため、綿密な移転計画を作成したうえで、住民に対する行政サービスの提供が低下しないよう努めます。